

2021年度 ND教育センター活動報告

2022年5月1日発行



ごあいさつ

ND教育センター長 神月 紀輔

本年度も教育センターの活動にご協力をいただき、ありがとうございました。

2021年度もコロナ禍の中、本来の授業を進めることができず、教職員学生ともに歯がゆい思いをした1年間であったと思います。2020年度入学生は、大学生活の半分をこのような形で過ごすことになり、辛い思いをさせてしまっているのかと懸念しております。しかし、その中でも、情報通信ネットワークを利用した学習活動を充実させることができ、最近では、食堂などで情報機器を中心に話し合う学生の姿もよく見るようになってきました。

このような情報活用のサポートをはじめとする情報環境の充実や、教職課程関係の業務の充実、大学の共通教育の充実などを図るために行ってきた本センターの活動を報告させていただきます。

以前は学生から「ND教育センターってどこ?何?」という声が聞かれていましたが、センターの教職員の努力のかいもあって、「ND教育センターってソフィア館の1階ですよ」といっていただけるようになりました。

今後とも、皆様のご協力をいただきながら、各所掌の活動の充実に努めてまいります。本年報をお読みいただき、さらにご指導・ご鞭撻いただけましたら幸いです。

2022年5月1日

「情報活用カプログラム(基礎)」が文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」(MDASH)に認定

2021年8月4日付けで本学の「情報活用カプログラム(基礎)」が、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」(MDASH)に認定されました。この認定制度は、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、かつ、それを適切に理解し活用する基礎的な能力を育成するため、その知識および技

術について体系的な教育を行う大学等の正規の課程(教育プログラム)により、数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な能力の向上およびその機会を図ることを目的としています。

個別学習のためのブースを整備

授業のオンライン化やブレンド型の導入により、学内で個別に学習できるスタディスポットの整備を各部署と連携し進めてきました。今回、文部科学省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」採択事業の一環として、一つひとつが仕切られた個別学習ブースをユーージニア館4階に新設しました。



ND教育センター・教務委員会・FD委員会 共催 「今後の授業デザインを考えるワークショップ」を実施

学生の学習効果の観点から、どのような授業デザインが最適かをあらためて検討し、オンライン授業期間の経験も生かした、より発展的な対面授業の実施の一助となるよう、ND教育センター・教務委員会・FD委員会共催による「今後の授業デザインを考えるワークショップ」をオンラインで実施しました。

日時:2021年9月22日(水)10:45~12:15
参加者:97名

・今後の授業デザインについて

- ①「大学等における遠隔授業の取扱いについて」

- ②「学生・教員のアンケート結果から見える『今後の授業に活かせる授業方法のポイント』について」

・ワークショップ

- ①授業実践紹介
後藤伸彦講師・吉田朋子准教授・中村久美学長、
コーディネーター:神月紀輔教授
- ②ディスカッションおよび質疑

・シラバス作成のポイント

ND教育センター・FD委員会 共催 第3回データサイエンス活用カフェ 「身近なデータで機械学習」を実施

AIやデータサイエンスを正しく理解し、使いこなす必要が高まっている中で、そもそもデータサイエンスに何ができるのか、どう活用していけばよいのかについて学生・教職員が自由に話し合う場が「データサイエンス活用カフェ」です。今回はWolfram Research, Inc.の北村美穂子先生、金光安芸子先生を講師に迎え、「身近なデータで機械学習~AIは『きのこの山』と『たけのこの里』を見分けられるか?~」というテーマで開催しました。

日時:2021年11月2日(火)16:30~18:00
参加者:23名

FD委員会・ND教育センター 共催 2021年度FD研修会を実施

今回のFD研修会では、ND教育センターも共催し、「本学の情報教育の現状および本学学生のICTスキルの到達度を理解・共有し今後の教育改善に繋げる」をテーマに、吉田智子教授が、本学の情報教育の現状や今後の課題、学生のICTスキル等について講演を行いました。

日時:2022年2月16日(水)10:30~12:00
参加者:70名

ND教育センター・FD委員会 共催 DX推進の活動報告と数理・データサイエンス・AI教育の高大連携授業公開 「“文系”“女子”小規模大学のデジタル活用と 高大接続教育の未来」を実施

第1部は、ノートルダム女学院高等学校ブレップ総合コース2年生の連携授業「みらいデザイン☆ハイスクール」に学校教育関係者も招き実施しました。第2部では、DX推進計画進捗状況の報告と、学生・教員それぞれに実施したアンケートをもとにオンライン授業の教育効果に関する分析の報告を行いました。つづいて、神月紀輔教授とノートルダム女学院高等学校霜田慶久教諭が、高等学校における情報教育やデータ活用の教育、教育におけるICT活用、2023年度開設予定の社会情報課程への期待などについて対談を行いました。

日時:2022年3月9日(水)14:45~17:30
参加者:第1部 女学院生徒63名、教職員14名
第2部 来場者とウェビナー参加者合計42名

第1部「身近なデータで機械学習~AIは『きのこの山』と『たけのこの里』を見分けられるか?~」(Wolfram Research, Inc. 北村美穂子先生・金光安芸子先生)
第2部「京都ノートルダム女子大学のDX推進計画および数理・データサイエンス・AI教育の取り組み」

—DX推進計画(Plus-DX)進捗報告

- ①ブレンド型授業モデル ②学内個別学修環境整備 ③情報活用カプログラム

—学部等連携課程「社会情報課程」設置構想

授業評価アンケート

教育の質的向上を目的に、授業の最終段階で学生が授業を振り返るアンケートを実施。

実施対象者:全受講生(学部)
実施科目:開講する学部の全科目(一部期間外の学外実習科目を除く)
実施方法:manabaで回答。

※ND教育センターでの実施・集計後、共通教育科目についてはND教育センターで、専門科目についてはFD委員会で、それぞれ分析を行います。

・前期(夏期集中含む)

実施期間:7月1日(木)~7月30日(金)
(夏期集中科目 開講期間中)
フィードバックコメント記入期間:8月2日(月)~9月24日(金)
回答率:34.1%(対象者数12,912、回答数4,404)

・後期(春期集中含む)

実施期間:1月5日(水)~1月26日(水)
(春期集中科目 開講期間中)
フィードバックコメント記入期間:1月27日(木)~2月28日(月)
回答率:30.2%(対象者数12,568、回答数3,798)

英語実力テスト

12月にTOEIC Listening & Reading IPテスト(オンライン)を実施しました。ND教育センターが提供するTOEICテストについては、在学中2回まで受験料を全額補助しています。

対象：1年次生(英語英文学科除く)

期間：12月6日(月)～12月20日(月)左記期間内に各自で受験。

学習アドバイジング

・文章作成の基礎づくり

センターが提供する文章作成に関する課題に取り組むことにより、苦手意識を克服し、段階的に基礎を身につけていく学習サポート「文章作成の基礎づくり」をmanabaで行っています。

- 課題1.レポートにふさわしい文体―「である」体を使う―
- 課題2.文語を使う
- 課題3.「私は(わたしは)」「～と思う」を避ける

- 課題4.句読点の使い方
- 課題5.括弧(かっこ)の使い方
- 課題6.主語と述語を合わせる(単文バージョン)
- 課題7.長文に注意―ぬじれ文・違和感のある文―
- 課題8.引用・参考は慎重に

・文章作成の基礎に関する相談

本年度から、ND教育センター事務室で実施しています。

入学前教育実施報告

高校での学びから大学での学びへスムーズに移行できるよう、おもに早期入学予定者を対象に入学前教育・講座を実施しました。

・入学前学科課題

入学予定の学科について、さらに関心を高めるため、学科ごとに設定された課題に取り組み学科教員と書簡でのやりとりを行いました。

対象入試：ノートルダム女学院高等学校内部進学推薦、指定校推薦、
学校推薦Ⅰ・Ⅱ期、総合型Ⅰ・Ⅱ期・連携校対象、外国人留学生
提出率：92.1%(対象者190名、提出者175名)

・スクーリング(2月14日(月)・15日(火)実施)

ノートルダム女学院高等学校及び高大連携校12校からの早期入学予定者を対象とし、入学前に大学の授業を体験することで不安を解消するとともに大学で学ぶことの意味を考え、入学後の授業理解に役立てる講座を実施しています。

対象入試：ノートルダム女学院高等学校内部進学推薦、指定校推薦、
学校推薦Ⅰ・Ⅱ期、総合型Ⅰ・Ⅱ期・連携校対象
参加率：56.7%(対象者60名、参加者34名 連携校以外からも8名参加)

- | | | |
|--------|-------------|-----------------------------|
| 14日(月) | 10:30～10:50 | 開講式・オリエンテーション |
| | 11:00～12:00 | 学長講話 京都ノートルダム女子大学で学ぶこと |
| | 13:10～14:40 | 大学での学び方・新入生のためのカリキュラム講座 |
| | 14:55～16:25 | Enjoy English |
| | 16:30～17:10 | キャンパスツアー |
| | 10:30～11:30 | 保護者向け説明会：自律・自立のためのサポート |
| 15日(火) | 10:00～12:00 | 卒業研究発表会 |
| | 13:10～14:40 | これからのキャリアデザイン入門 |
| | 14:55～16:25 | 大学生のためのノート・レポートの書き方、図書館の活用法 |
| | 16:25～16:40 | 修了式 |

受講生の声(アンケートより)

- ・大学生ではどのような力(判断力)を身につけなければならないのか、学長のお話しを通し、たくさん知ることができた。
- ・4年生方の学びや、発表姿がとてもかっこよく、参考になりました。
- ・大学卒業後のことだけではなく行動計画の立て方について知ることが出来た。

・入学前準備基礎講座(東進ハイスクール(ナガセ)提供通信講座)

希望者を対象に、通信講座(受講者負担 「数学基礎」「基礎英語」「国語表現力」「就職対策講座」)を推奨しています。

対象入試：ノートルダム女学院高等学校内部進学推薦、指定校推薦、
学校推薦Ⅰ・Ⅱ期、総合型Ⅰ・Ⅱ期・連携校対象、一般Ⅰ期、
大学入学共通テスト利用Ⅰ期、外国人留学生
受講率：4.9%(対象者267名、受講者13名)

ノートルダム女学院中学高等学校との連携授業

ノートルダム女学院高等学校ブレップ総合コースの生徒を対象に、連携プログラムを実施しています。2021年度は、以下のとおり実施しました。

・高校1年生対象

6月1日(火)14:20～15:10

自己探求としての「リフレーミング」
(中藤信哉講師)

10月5日(火)13:45～14:45、15:00～16:00

みらいデザイン☆プログラム

(須川いずみ教授・河野有時教授・大風薫准教授・佐藤睦子准教授・河佐英俊准教授)

3月9日(水)13:00～14:30

女性の生き方とキャリアを考える①
(青木加奈子准教授)

・高校2年生対象

7月2日(金)14:30～17:00

女性の生き方とキャリアを考える①
(青木加奈子准教授)

11月13日(土)14:30～17:30

みらいデザイン☆ハイスクール

(企画・運営：濱中倫秀特任准教授・キャリア形成ゼミ「ワークショップ・デザインゼミ」受講生)

3月9日(水)13:00～14:30

女性の生き方とキャリアを考える②
(平野美保准教授)

みらいデザイン☆ハイスクール

(Wolfram Research, Inc. 北村美穂子先生・金光安芸子先生)

・高校3年生対象

1月13日(木)・20日(木)、2月3日(木)・7日(月)～10日(木)

「文章作成法Ⅰ」
(金美仙特任准教授)

特別科目等履修生として本学正規科目「文章作成法Ⅰ」を受講するプログラムです。履修し合格すると「特別科目等履修生単位修得証明書」が交付され、本学に入学後の申請により「文章作成法Ⅰ」(1単位)が認定されます。

インスタグラム開設

TwitterとともにND教育センター関連の情報を発信するため、11月に公式インスタグラムを開設しました。センターや大学の様子、イベントレポートなど、大学の“実際”をお届けしています。



教職課程関連

教職課程支援が本格始動

2021年10月1日、ND教育センターに教職教育部門を設け、教職課程履修者への支援をセンターが担うことになりました。それに先立ち、後期授業開始を前にソフィア館3階の教職ルームを1階に移転し、教職に関する情報の整理や環境整備を行いました。授業が始まってからは毎日のように学生が利用・相談に来ています。



学生・教職員が自由に使用できるPC・電子黒板



模擬授業の検討に使用できる教科書や指導書



学生ボランティアや教員採用情報など

教職課程学生の進路サポート

教職課程の学生は3年次後期以降に教育実習を経験し、いよいよ卒業後の進路を見据えて教員採用試験勉強に本腰を入れて取り組みます。ND教育センターではこの時期に合わせて、教員採用試験に関するガイダンス・説明会や対策講座を実施し

ました。主な対象は3年次生でしたが、1・2年次生も積極的に参加し、関心の高さがうかがえました。

2022年度は教職大学院や教師塾に関する説明会も実施する予定です。

主なイベント実績

●教員採用試験対策ガイダンス(TAC株式会社)

日 時:12月9日(木)16:40~17:40

参加学生数:23名(3年次:15名 2年次:4名 1年次:4名)

参加者の声 近年の出題傾向や抑えておくべきポイント、チェックしておくべき書籍など、独学では知ることのできない情報を仕入れることができて良かったです。あと約半年後に迫っていますが、要点を押さえて効率よく勉強していきたいと思いました。



●教員採用試験説明会(京都府/滋賀県)

日 時:12月16日(木)/1月14日(金)16:40~17:40

参加学生数:14名(3年次:5名 2年次:5名 1年次:4名)

参加者の声 何が必要か、今すべきことなどを再確認出来たと思いました。もう少し悩み、今後どうするか考えたいと改めて考えることが出来ました。

●教員採用試験対策講座(※有料)(TAC株式会社)

日 時:2月9日(水)~15日(火)全10コマ

参加学生数:10名(3年次:7名 2年次:2名 1年次:1名)

受講生の声 後で復習しやすいようにまとめてくださっているのがとても分かりやすいと感じました。途中で先に学んだことと関連させてくださったのが、授業内で復習できて良かったと思いました。

編集後記 ND教育センター副センター長より

本学は2022年4月26日(火)、Wolfram Research, Inc.(ウルフラムリサーチ)というグローバルIT企業との産学連携協定を締結しました。本学の情報教育の推進や人材育成、さらには教材開発の面で学生を巻き込んで協働できることにワクワクします。

ウルフラムリサーチは、私が1990年代に仕事で出入りしていた某大学の数理解析研究所のメンバーが使っていた、Mathematicaという世界的に有名なソフトの開発元です。そして今回、この会社の関係者として来られたのが、当時、その数理解析研究所で実施されていた勉強会で一緒し、意気投合していた方だという素敵なお縁。過去の行動(特に頑張ったこと)は、確実に今の自分を助けてくれるな・・と感じています。若い方は自分の未来のご縁をお楽しみに。

副センター長 吉田智子

